Travaux de caféSAYA et Kirara-sha

今回は理科室カフェについてご案内します。
通常、カフェのご予約時間（1時～2時半、3時～4時半）では工作的なワークショップを比較的自由に行っていただけます。たとえば、4人グループでご来店され、1名はシャーレでジオラマづくり、1名はオイル液浸標本（ハーバリウム）づくり、1名はマジパンで鉱物お菓子づくり、そして1名はゆっくりお買い物……。
5時からのご予約時間は「理科室カフェ」をやっています。蛍光鉱物観察会、ビスマス鍋、蛍石八面体劈開、海月観察会、微生物BAR,天気管・結晶生成管づくり、虹標本（液晶）ワークショップ、結晶研究……。本格的な理科教室でもないし、専門的なセミナーでもありません。文系人間の興味範疇のことを、理科趣味として、一緒にお愉しみいただければと思って始めました。

【蛍光鉱物観察会】
その名のとおり、店内の照明を消して、蛍光する鉱物を長波・短波のブラックライトを照射して、その蛍光を観察します。鉱物の不思議で美しい蛍光を愉しむもよし、撮影するもよし、自由研究に使うもよし。最後には蛍石を加熱して、加熱による蛍光を観察していただけます。

【ビスマス】
プチビスマスでは小さな容器で少量のビスマスを熔かして、ビスマス結晶づくりの最初の一歩を体験します。また、ビスマス鍋では鍋に数キロのビスマスを熔かし、順番につついて結晶を取り出します。

【蛍石八面体劈開】
その時に入手ができた劈開の素直なチップやナゲットを劈開を利用して八面体に割るワークショップです。初心者の方もベテランの方も、それぞれ楽しめるように、ご用意しています。図鑑には蛍石の劈開は完全と記載されていますが、実際には結晶構造（双晶）や不純物によって八面体に割れるものと割れないものがあり、多くは産地と見た目で判断ができます。できるだけ割り易いものをご用意します。

【虹標本(液晶)】
白いセルロースの粉に水を添加して液晶を作ります。合せて、先に作っておいた液晶で温度による変化や光による変化、虹色を消してから戻る様子などを実験観察します。作った液晶（実験に使ったものも）はお持ち帰りいただけます。

【魔法水（酸化・還元）】
酸化・還元を利用して、色水の色を一瞬で消したり、変化させたりする実験をします。

【蛍光】
蛍光とは何か。発光とは何かを知り、蛍光鉱物、人工的な蛍光物の観察、化学的な発光と酵素による発光を実験観察します。化学反応を使った発光物と、酵素による発光実験で使ったウミホタル未使用分もお持ち帰りいただけますので、当日、一緒に来ることができなかったご家族やお友達と、再度お愉しみいただけます。

【ケミカルガーデン】
水ガラスの中にいろいろな金属塩を入れて、樹木が成長するようににょきにょきと伸びる様子を観察します。金属塩の種類だけでなく、その日の気温によって、伸び方も異なります。小さな試験管に作ったものと、ご自宅で再度楽しめるキットをお持ち帰りいただけます（劇薬指定のない試薬）。

【結晶研究室】
尿素、チオ硫酸ナトリウム、酢酸ナトリウムの結晶の実験。合わせて、塩化アンモニウム、硝酸カリウムの結晶の観察もします。この日に合わせて、販売用人工結晶も作成します。

理科室カフェ

【天気管・結晶生成管づくり】
天気管の歴史と、今までさまざまな研究室で行われた実験・検証結果の話。結晶生成管の実験（試験管の中に雪が降るような実験です）をしてから、実際に天気管と結晶生成管を作ります。作ったものは、そのまま、お持ち帰りいただけます。

【海月観察会】
年に数回、海月の観察&配布を行っています。サカサクラゲ・エダアシクラゲ・タコクラゲ・ベニクラゲ・ミズクラゲ。夏休みにはサカサクラゲのポリプも配布します。また、エイレネクラゲポリプ、サカサクラゲエフィラはすべての会にて配布します。エダアシクラゲ・タコクラゲはクラゲが出た時。ベニクラゲは10月末～11月上旬に行う観察会でお披露目します。なお、その会のメインはミズクラゲで、日程に合わせてストロビレーションを起させたミズクラゲを観察します。拍動を始めたストロビラやエフィラが遊離するところを観察します。ストロビラはそのままお持ち帰りいただけますので、ご自宅でエフィラが遊離する様子を継続して観察してください。エフィラはそのまま飼育すると美しいミズクラゲになります。ポリプもミズクラゲの給餌のついでに給餌・換水すれば殖えます。

【微生物BAR】
L-eyeにて微生物や鉱物・モルフォ蝶の翅などを観察します。ウミホタル研究者の阿部勝巳さんへのオマージュとして、著書『ワイングラスかたむけ顕微鏡』から、あえてアルコールを飲みながら観察します（もちろんアルコール以外のものもあり、未成年の方のご参加も可能です）。

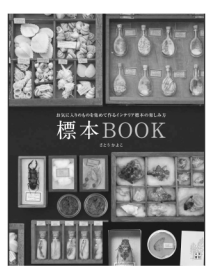
★ 理科室カフェは6～10名で貸切で行えます。内容も複数組み合わせ可能。ご相談はご希望日の2ヶ月前（できれば3ヶ月前）にきらら舎のフォームまたはメールにてご連絡ください。

今までに作った本たち

『鉱物レシピ』
（グラフィック社）

『鉱物と理科室のぬり絵』
（玄光社）

『遊べる鉱物図鑑』
（東京書店）



『標本BOOK』
（日東書院本社）

各本について、それぞれフォローページを作成しております。
きらら舎TOPページよりアクセスできます。

Auto-présentation

café SAYA

東京の隅っこの街にある小さなカフェです。月に数回だけオープンします。カフェでは鉱物や貝殻標本、豆本、ミニチュアアイテムなど、いろいろ販売している他、万華鏡や鉱物オブジェを作ったり、理科実験的なワークショップをお愉しみいただけます。

http://cafesaya.net/

きらら舎

鉱物、化石、活字、硝子碍子、古い硝子壜、スタンプ、豆本、光る石、万華鏡、理科アイテム・・・不思議で懐かしいモノを販売しています。

http://kirara-sha.com/

ルーチカ

TOKO&SAYAの2人組ユニット。
ルーチカ図鑑と、文房具や雑貨の制作をしています。

http://stelklara.net/ruchka/

Kent Studio

ドールセットやドール家具豆本本棚や標本箱などを製作しています。
オーダーも承っております。

http://kentstudio.co.jp/

Calendrier des événements

本の制作・発行があり、パピエ・ド・キララの編集が今回は随分遅れてしまいました。例年の発行スケジュールどおりであれば、今号は9月1日のはずで、次号は1月1日の予定でしたが、今回大幅に遅れたため、次号は2月下旬を予定しています……が、来年5月にも発行予定の本があり、そうなると制作時期は2～3月。さらにこの時期は確定申告も重なるので、最悪、次号発行は4月上旬にもつれこむかもしれません。

2017年11月はカレンダーどおり、毎週土曜日が営業日です。

2017年12月は恒例のルーチカカフェ月間。今年1年のルーチカの集大成として、販売したグッズやルーチカ図鑑をすべて揃えて、関連ワークショップをご用意しております。ただし、毎週5時からの回は通常どおり理科室カフェを開催します。
最終営業日は12月23日（土）の予定です。

2018年1月は恒例となりました、ラッキーバッグセールを除夜の鐘と同時に開催します。カフェの営業日は1月13日（土）から。13日（土）はお席のご予約のない、お年玉セールとなります。
狭い店なので入店人数制限のためのご予約は行います。

その後の営業日はWEBにてご確認ください。

2018年2月・3月はカレンダーどおりの土曜日のみの営業の予定です。

カフェのご予約について

1か月前～半月前くらいに予約を開始します。席数が8席しかないため、ご予約人数によってはご相席をお願いしております。また、店内も狭いので大きな荷物のお持ちこみはご遠慮ください。ご予約はすべてネットから受け付けております。きらら舎のカートの在庫数管理で席数を管理しているため、わかりづらい表記もあるかと思いますが、ご予約の人数分をカートに入れて、店頭受取にてご予約ください。

店頭受取りについて

ご注文・引き取りのご連絡はご来店日の2日前（木曜日午後9時）までにお願いします。なお、お席のご予約がなく、商品引き取りだけの場合は午後2時～4時半にお願いします。店内混雑状況によってお待たせする場合もあります。予めご了承ください。

◆ カフェの場所
〒115-0043　東京都北区神谷3-37-1
◆ cafeSAYA
http://cafesaya.net/
◆ きらら舎
http://kirara-sha.com/
◆ Twitter
@cafeSAYA
◆ ブログ（天氣後報II）
http://tenki.kirara-sha.net/
◆ 裏ブログ（きらら舎日誌:個人的なこと）
http://diary.kirara-sha.net/
◆ FaceBook
https://www.facebook.com/Kirarasha.info/
◆ YouTubeアカウント
KirarashaSAYA

LINE
電話番号検索からメッセージをお送りください。

お問合せはきらら舎の問合せフォームかメール（必ず件名をお書きください）、ツイッターのDM（返信ではありません）からお送りください。カフェ当日の緊急連絡（道に迷った！遅れる！！など）はご予約時にお歌えした携帯電話へおかけください（カフェ営業日以外のお電話はご遠慮ください）。

メール:info@cafesaya.net